

「文明と古典」 古典学の再構築 第3回公開シンポジウム プログラム

「古典学の再構築」では、平成12年3月24日(金)・3月25日(土)の両日、第3回公開シンポジウムを開催した。会場は、初日が日本学術会議講堂(東京都港区六本木)、2日目は東京大学文学部であった。今回も多数の人びとの参加を得て、充実した講演と活発な議論が展開された。両日のプログラムは以下の通りであった。本号はそのシンポジウム報告を特集したものである。

平成12年3月24日(金) / 於日本学術会議講堂(東京都港区六本木7 22 34)

- 9:30 開会の辞 戸川芳郎(日本学術会議第1部部長)
- 10:00 基調講演1 「インド古典における哲学的思惟の特質」
講演者 服部正明(京都大学名誉教授)
講演者紹介 徳永宗雄(京都大学大学院文学研究科教授)
- 11:00 討議
- 11:30 昼食休憩
- 12:30 基調講演2 「江戸の漢詩と中国古典」
講演者 石川忠久(二松学舎大学大学院教授・語学文学研連委員長)
講演者紹介 半田公平(二松学舎大学大学院教授)
- 13:30 基調講演3 「新しい中国古典学の構築といくつかの注意点」
(建立新的中国古典学時需要注意幾個問題・通訳付き)
講演者 裘錫圭(中国北京大学中国語文学系(古文字学)教授)
講演者紹介 池田知久(東京大学大学院人文社会系研究科教授)
- 15:00 討議
- 15:30 休憩
- 15:40 パネルディスカッション「文明の中の古典の役割」
パネリスト 中川久定(司会・京都国立博物館)・堀池信夫(筑波大)・高橋孝信(東大)
内山勝利(京大)・鎌田繁(東大)・月本昭男(立大)・大津透(東大)
- 17:30 休憩・移動
- 18:00 懇親会 於健保会館はあといん乃木坂
- 20:30 散会

平成12年3月25日(土) / 於東京大学文学部(東京都文京区本郷7 3 1)

- 10:00 「古典学の再構築」現況報告 中谷英明(領域代表)
- 10:20 「原典」調整班研究報告 池田知久(「原典」班代表)
- 10:30 「パーミヤン溪谷から現れた仏教写本の諸相」
松田和信(佛教大学教授)
- 11:15 「タミル古典研究の回顧と展望」
高橋孝信(東京大学大学院人文社会系研究科助教授)
- 12:00 昼食休憩
- 13:00 「藤原定家の日記筆録形態」尾上陽介(東京大学史料編纂所助手)
- 13:45 「ペルシア語によるイスラーム世界史記述の始まりについて」
井谷鋼造(追手門学院大学文学部教授)
- 14:30 インド学分野講演 “**Liberation in Classical Yoga**”
Dr. I. R. Whicher (Cambridge Univ .)
- 15:15 休憩
- 15:30 全体討議 「古典とは何か」
司会 興膳宏(京都大学大学院文学研究科長・中国学分野責任者)
- 17:00 閉会の辞 高崎直道(鶴見大学学長・「古典学の再構築」評価委員)
- 17:10 閉会